

固定資産税納税通知書が変わります ……4
 地域活動を応援！
 地区センターを2館開設 ……5
 けんこうだより ……6
 まちを緑と花でいっぱい
 春の緑化月間 ……8
 4月15日(日)
 多摩川・浅川クリーン作戦 ……9
 ひの市民大学で学びませんか ……12



新たなまちづくりを目指して



- ・ 芸術文化の薫るまち
- ・ 子育てと健康の要は食育にあり

平成19年度を迎えるにあたり、市政への所信と新年度事業の骨子を申し述べ、市民の皆さんに、一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

日野市長
 ひろみ
 弘社



平成19年度所信表明

基本姿勢

私が幅広い市民の皆さんのご信任を得て、日野市長の職を担わせていただき、11年目を迎えます。平成9年に就任して以来、日本国憲法の理念のもと世界の恒久平和を目指しつつ、3つの基本、「市民参画」「環境にやさしい」「経営感覚」を貫き、「次の世代に美しいふるさとを渡そう」を継続するスローガンとして、市政運営に邁進しているところであります。

現在、地方分権を目指す国の三位一体改革が進められるなど、激動の時代が続いています。日野市においては、この10年の成果をひとつの区切りとして、平成19年度は「新たなまちづくり」の始まりにしたいと考えています。

長年の懸案であった国道20号日野バイパスが3月24日に開通しました。また、京王線高幡不動駅の橋上化にあわせ4月2日には七生支所も移転するなど、まちづくり分野で目ざましい進捗が見られます。これらを踏まえ、「日野宿再生」事業の推進、駅のバリアフリー化、そして、国道20号日野バイパス延伸部分の事業化に向けた取り組みを進めてまいります。

子育ての分野では、民間活力の導入に加え市職員力による、市民のニーズに応える保育園等改革を進めます。また、小学校全校で、「放課後子どもプラン」を実施し、健全な児童育成を進めます。健康・福祉の分野では、「日野人げんきープラン」を基本として市民が長寿でいられるよう健康施策を充実させるとともに、障害者を支えるため、市内の施設・作業所などに対して財政支援を行うなど施策を充実してまいります。

これら、市民サービス向上を目指した取り組みを進めていくためすべての分野で、第3次行財政改革を実施してまいります。

なお今年の市政のメインテーマを「芸術文化の薫るまち」としました。新館、小島善太郎記念館の開設準備として日野宿での講座など、昨年に引き続き、地域の伝統・歴史を生かし幅広い視野で芸術文化の薫り豊かなまちづくりを目指します。併せて、サブテーマである「子育てと健康の要は食育にあり」に沿い、今年度策定する日野市の食育基本計画、基本条例を軸に、日野市独自の取り組みを全庁横断的に進めてまいります。

当面する行政課題への取り組み

1 子育て支援サービスの充実
 (保育園等改革プランの推進) 子育てしやすいまち日本一を目指して



2 小学校全校での放課後子どもプランの実施
 医療費負担の軽減について準備



3 「日野人げんきープラン」と健康づくり
 (1) 1万人に1人の保健師による事業
 (2) 赤ちゃん全戸訪問、乳幼児健診後の保健師訪問など、積極的な家庭訪問や相談を実施
 (3) 市民による「健康づくり推進員」と連携した地域の特色を生かした健康まちづくりを推進
 (4) 健康づくりの柱として日野人四大運動事業の推進
 (5) 専門医による女性なんでも健康相談事業の充実



4 学校環境の整備と教育の充実
 (1) 日本一を目指した学校ICT活用教育の充実
 (2) 小・中学校全校で、コンピュータを活用したICT教育(学校における情報通信技術を活用した教育)のための環境整備が完了し、それをもとに「わかる授業」「魅力ある授業」を実施します。

(2) 更なる学校環境の充実と校舎建て替えを推進
 (3) 小・中学校施設整備計画に基づく、全校舎の耐震補強工事がほぼ完了し、屋内運動場の耐震化工事も引き続き推進
 (4) 平成20年4月の百草台小と三沢台小統合に向けて必要な事項を検討